



朝夕の冷え込みが厳しい季節になってきました。本校の職員室から、近隣のグリーンシャワー公園に目をやると木々の葉が赤や黄色に色づき、本格的な秋の訪れが感じられるようになってきています。

2学期も中盤に差し掛かり、本校では居住地校交流が多く実施される時期になってきました。小学部の児童、中学部の生徒が自分の居住する地域の学校の友達と学習に取り組んでいます。交流実施後に引率した教員からは、「〇〇くん、はりきってがんばっていたよ。」「友達から、声を掛けてもらって、嬉しそうだったよ。」など、交流を実施したことに対する肯定的な言葉を多く耳にします。児童生徒は、日頃の学習環境とは異なる中で、緊張したり、不安になったりすることもあるのではないかと思います。それでも、積極的に取り組んだり、楽しんだりする姿が多くみられるということは、地域の友達と一緒に学習に取り組むことが、とても魅力的な活動なのだろうと感じます。居住地校交流が、実施する児童生徒一人一人にとって、充実した効果的な学習活動となるように、取り組みを推進していきたいと考えています。

さて、交流教育便り No.5 からは、本校の居住地校交流の様子を紹介していきたいと思います。あわせて、校内での取り組みについても紹介していけたらと思っています。



○居住地校交流の実際 ～ 中学部 ～

「合唱祭の予行演習に参加しました!」

交流に向けた事前学習で、
音楽の時間に合唱祭の曲を学習しました。

10月に入って、地元の中学校に直接交流に行ってきました。小学校時代の友達が駆け寄ってきてくれて交流がスタート! 皆の前で、大きな声で挨拶することができました。



交流校の先生から楽譜を渡されると、嬉しそうに楽譜を見て、練習が始まると交流校の友達の歌に合わせて、ノリノリで体を動かしました☆

小学校時代の友達から、声を掛けてもらったり、一緒に写真撮影したりと友達から刺激を受け、充実した時間を過ごすことができました。



○居住地校交流に関する校内の取組

「居住地校交流に関する記録について」

本校では、今年度より居住地校交流を実施した児童生徒全員を対象として、交流実施後に記録を作成し、取り組み内容を蓄積することとしました。

コロナ禍で直接交流を実施することが数年間でできていなかったことにより、今まで、教員間の口頭での伝達で確認できていた部分が伝わりにくくなっています。一人一人の実態やこれまでの交流経験を基にして、次年度の交流を計画することで、居住地校との交流をさらに、充実していきたいと思い、この取り組みをスタートさせています。

(取り組みのポイント)

1. 個々の毎回の取り組みを記録する

個々の毎回の取り組みを記録することで、交流における目標は達成できたかを評価し、次の交流内容や支援方法を工夫することが容易と考えています。

2. 事前・事後学習を記録する

居住地校交流は、在籍校の教育課程の中で実施される教育活動です。指導に当たる教員が事前・事後学習に意識を向けることで、交流を通じて、どの教科で、どのようなことを目標とするかといった共同の側面が意識しやすくなると考えています。

3. 継続できる記録にする

継続的に記録を行っていくための内容や分量を検討し、右に示す様式を作成しました。作成することが負担にならず、15分程度で完成させることのできるものを目指しました。

今年度、この取り組みを行いながら、効果的な活用方法についても、探っていければと考えています。

居住地校交流 実施記録表 (書き方例)			
児童生徒名:		交流校:	
交流日時: 月 日 () : ~ : 【 時間日 ~ 時間日】			
交流回数: 回目	交流するクラス: 通常学級・特別支援学級	交流方法: 直接交流・間接交流	
交流の内容 (概要):			
具体的な取り組み			
事前・事後学習	【取り組みの様子の写真】 事前・事後学習の様子の写真 1枚	【取り組みの詳細や児童生徒の様子】 事前・事後学習で取り組んだ内容、児童生徒の様子を簡単に示す。	
	【取り組みの様子の写真】 当日の交流の様子の写真 1枚	【取り組みの詳細や児童生徒の様子】 交流当日の活動内容、その時の児童生徒の様子等を簡単に示す。 ※活動時間が複数時間になる場合には、その中の1時間を選択して記入して下さい。	
交流当日			
感想			
事前・事後学習、当日の交流を通しての感想。次回の交流に向けての思いを記入して下さい。			

本校の居住地校交流の記録様式